

- 8月自治会と9月以降の取り組み
- 自治会 IT の推進

□ 8月自治会と9月以降の取り組み

8月は例年自治会も休みになりました。今年度はコロナの蔓延はワクチンの接種等教育・介護・医療等のあらゆる分野に影響が出ました。地域のボランティア活動も自らを守り家族を守りながら、出来る範囲でご参加頂きありがとうございます。

9月以降の課題に今年は会員名簿の変更、自治会館の外壁工事、地震災害の対応、ITの推進等沢山の課題があります。

□自治会 IT の推進方法

日限山自治会では、新型コロナへの感染対策として3蜜を避け、メールで連絡をとるとともに、IT化の推進を図ってきました。具体的には、①自治会のホームページ開設による情報交流の活発化、②役員のIT活用度のアンケート調査などです。

そこで見えてきたのが、自治会会員の高齢化です。60才以上の会員比率が6割を越えるのに対して30代以下が1割程度しかないというアンバランスです。そして多くの家庭が共稼ぎ（パート等を含めて）で働いているために、家族間の連絡は殆どがスマホで行っているという実態です（アンケート結果は自治会ホームページでご覧いただけます）。

このように、私たちのライフスタイルはこの20年間で大きく変化し、社会の分断が進んでいるとも言える状況です。このため多くの人が「自治会におけるIT化の推進」は避けては通れない重要な課題と認識されているようになってきました。

例えば自治会で見ても、大地震が起こっても安否確認はして貰えるのだろうかとか、納涼祭は新型コロナで中止されているけれども、来年納涼祭は復活できるのだろうか、若い人の担い手は集まるのだろうか、といった不安が尽きません。

自治会では、今「情報交流」の活性化に力を入れようとしています。例えば、自治会内の色々なイベントの開催案内等の情報発信を強化するために、ホームページに投稿して戴ける趣味やボランティアのグループを募集しています。小学生たちのスポーツ大会での活躍の様子をホームページで閲覧していただき、老若の世代を超えた交流の一助にならないかと期待しております。

さらにホームページに掲載された新情報を素早く会員に届けるために、会員の個人メールに最新の情報を伝えるメルマガの購読登録を推進しています。これが普及すると、突然大地震が発生しても、港南区等の緊急情報が自治会のメルマガ・ホームページで各世帯に速報できるようになり、安否確認や援助の依頼が迅速におこなえるようになります（ホームページ投稿とメルマガ登録の詳細は、別添ビラをご覧ください）。

「IT化の推進」は「情報交流の活性化」であると思っています。新型コロナで分断された私たちの自治会活動を復活するためには、スマホ等を使った新しい情報交流の場を築いていくことが大事であり、皆様の自由なご意見・ご提案をお待ちしています。「お問い合わせ」で受け付けています。